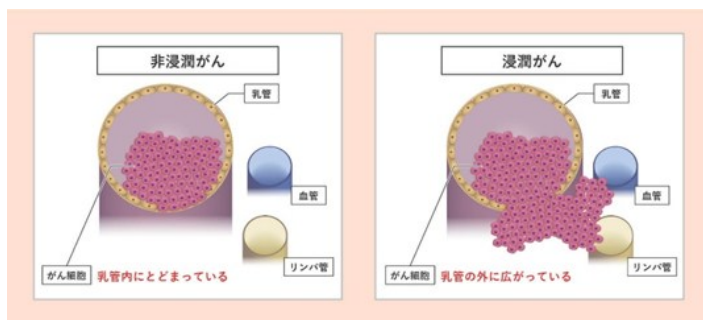


9月の乳がんサロンは、18日（木）に開催されました。テーマは「乳がん治療～近年のトピックス～」でした。講師は、乳腺外科の川又あゆみ先生です。

1. 乳がん分類

乳がんにはいろいろなグループ分けがあります。まず、発症の仕方では分けます。乳がんが、乳管を囲む乳管上皮細胞という細胞から発生し、乳管の壁を突き破ることなく乳管内にとどまっているものを、非浸潤がんと呼びます。いわゆるステージ0のがんです。一方、乳がん細胞が乳管の壁を突き破り、周囲の組織まで浸出しているものを浸潤がんといいます。

＜乳がんの広がり方＞



さらに、浸潤がんは、しこりの大きさや脇のリンパ節に転移があるかどうか、遠隔転移があるかどうかによってステージ1～4へ分けられます。

そして、治療を考える上で重要なグループ分けが、サブタイプ分類です。ホルモン陽性をルミナルタイプといい、HER2陽性をHER2陽性乳がんといいます。そしていずれも陰性のものをトリプルネガティブ乳がんといい、このタイプに応じて治療方針が異なります。

＜サブタイプ分類＞

	ホルモン受容体陽性		ホルモン受容体陰性
	活発でない	活発	
HER2 陰性	ホルモン受容体陽性 / HER2 陰性 ルミナル A ホルモン療法	ホルモン受容体陽性 / HER2 陰性 ルミナル B ホルモン療法+化学療法	トリプルネガティブ (ホルモン受容体陰性 / HER2 陰性) 化学療法
HER2 陽性	ホルモン受容体陽性 / HER2 陽性 抗 HER2 療法+化学療法+ホルモン療法		ホルモン受容体陰性 / HER2 陽性 抗 HER2 療法+化学療法

2. 乳がんの治療

乳がんの治療は、初期乳がんには、局所療法として手術を行い、再発予防のため、タイプに応じて全身療法の抗がん剤やホルモン剤、抗HER2療法や分子標的療法を行います。一方、転移性乳癌に対しては、全身療法、つまり、抗がん剤、ホルモン剤、分子標的薬などの薬物療法が中心となります。

3. 乳がんのトピックス：①

＜ラジオ波焼灼術＞

基準を満たす一部の方に限られますが、新たな治療法として切らない治療、ラジオ波焼灼術が2023年12月から保険診療で行うことができるようになりました。全身麻酔は必要ですが、皮膚表面から乳癌の患部に電極を刺入して、高周波電流によって腫瘍組織を焼灼凝固する方法です。



4. 乳がんのトピックス：②

＜抗体薬物複合体（ADC）＞

抗体薬物複合体は、抗体によってがん細胞に標的を絞り、抗体にくっつけた薬物をがん細胞内に直接届ける薬剤です。この薬剤は、抗体によってがん細胞を認識することでがん細胞は攻撃するが、正常な細胞への影響は最小限にとどめる目的で設計された、新しいタイプのがん治療薬です。



HER2陽性乳がん：エンハーツ®
 ホルモン陽性乳がん：ダトロウェイ®
 トリプルネガティブ乳がん：トロデルビ®

古くからある抗がん剤のように、がん細胞だろうが正常細胞だろうが、どんな細胞でも全部攻撃してしまう薬剤よりダメージが少ないと考えられています。

先駆けは、HER2陽性乳がんの治療薬でしたが、開発が進み、現在では、すべてのタイプで抗体薬物複合体が使用できる状況となっています。

5. 乳がんのトピックス：③

<遺伝子検査>

それほど新しい話ではありませんが、早期乳がんの方でも再発転移乳がんの方でも遺伝子検査について考える機会が増えています。乳癌領域は、BRCA1/2遺伝子検査（遺伝性乳癌卵巣がん症候群）、Oncotype Dx®（早期乳がんの方で術後抗がん剤を追加するかどうかの指標）、FoundationOne CDx（遺伝子レベルでがんの特性を知り、治療方針選択の一助となる）といったものがあります。

<Oncotype Dx®>

オンコタイプDx乳がん再発スコア検査は、21遺伝子の発現量を測定することで一人ひとりの腫瘍の生物学的特性を明らかにします⁹。

Proliferation	Invasion	HER2
Ki-67 STK15 Survivin Cyclin B1 MYBL2	Stromelysin 3 Cathepsin L2	GRB7 HER2
Oestrogen	Other	Reference
ER PR Bcl2 SCUBE2	GSTM1 BAG1 CD68	Beta-actin GAPDH RPLPO GUS TFRC

再発スコア結果

	再発スコア(RS)結果 0-25	再発スコア結果 26-100
閉経後 / 50歳超		
リンパ管転移陰性 (N0) ⁸⁵⁻⁹⁴	化学療法の上乗せ効果なし	実質的な化学療法の上乗せ効果
リンパ管転移陽性 (N1) ⁸⁵⁻⁹⁴	化学療法の上乗せ効果1%未満 ⁹	実質的な化学療法の上乗せ効果
閉経前 / 50歳以下		
リンパ管転移陰性 (N0) ⁸⁵⁻⁹⁴	化学療法の上乗せ効果なし	RS結果 16-20 化学療法の上乗せ効果約1.6%
リンパ管転移陽性 (N1) ⁸⁵⁻⁹⁴	化学療法の上乗せ効果2.4%***	RS結果 21-25 化学療法の上乗せ効果約6.5% データなし***

3ステップで読む FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル 解析結果レポート

ステップ1

現在の保険診療内で効果が期待できる薬剤名（英語）が書かれています。

お薬の名前：

ステップ2

ステップ1の薬剤と関係ある遺伝子の変化*（英語）が書かれています。

遺伝子の変化：

ステップ1・2に該当する情報がなかった場合「No Companion Diagnostic (CDx) alterations for FoundationOne®CDx were detected.」または「No Companion Diagnostic (CDx) alterations for FoundationOne®Liquid CDx were detected. Please consider confirmation with tumor tissue testing, such as FoundationOne®CDx, if possible.」という文言が記載されます。

ステップ3

今回の検査で見つかった遺伝子の変化*がすべて書かれており、医療関係者は、この情報も参考にしながらあなたの治療を考えています。

遺伝子の変化：

6. おわりに

当院では、患者さんにかかりつけ医を作っていたいただき、術後連携を行うことを勧めています。そうすることで、患者さんも相談先が増え、乳がんだけではなく、些細な体の不調にも対応できると考えます。乳がんと告知されてから不安を抱えていらっしゃる方は多いと思います。しかし、そんな時には、当院乳腺外科医、また、かかりつけの先生にご相談いただき、一緒に解決していけると大変うれしく思います。

【事前申し込み・お問い合わせ先】

呉医療センター・中国がんセンター
がん相談支援センター

☎：0823-24-6358

（直通電話）

平日：9時～16時

よろず・がん相談窓口（④番窓口）

平日：8時30分～17時15分

寄稿：乳腺外科 川又あゆみ 先生

編集：がん相談支援センター



